

開業10周年のオ・マ・ケ

私のドタバタ試験日の話

2014(平成26)年11月16日(日)行政書士試験日

さて、いよいよ私の最後の受験日(昨年落ちて、悩みに悩み、あと1回だけ受験しようと思ったので、今日が最後、気力も体力も限界だもの……ゆかり)

大学も受験したことがなく、昨年受けた行政書士試験が私にとって“はじめての受験”1年目はひたすらテキストを読んで、意味不明で悶絶(笑)

2年目に受験は過去問が必須だと知り、ひたすら過去問を解く。夜中に問題を出されて(誰だ?)飛び起きて、問題集を読んで、眠れない。そんな日々とも今日でおさらばだ!

朝ご飯は、何を食べよう。定番のカツカレー?と思うていたけれどパスタが消化に良いらしいので、カレーパスタ。

忘れ物はないか、最終確認。当時の私は北海道の岩見沢という田舎に暮らしていて、受験会場の札幌へは、1時間に1本くらいしかないバスで駅まで向かい、そこから電車で札幌まで。究極の方向音痴なのを承知しているので、とんでもなく早く出かける。

(去年も行っているのに、なんてことはまったく関係なく、昨日行っても迷うのだ)

札幌の駅から地下鉄へ乗り継ぎ、乗ってしばらくして、車内で降りる駅を確かめたが“降りる駅がない”いや、無い訳が“ない”……私は乗る地下鉄を間違えたのだ。

上り下りの話ではなく、そもそも、違う地下鉄に乗ってしまった訳で、札幌へ1度戻るしかない。そんなことがあっても、早く来ていたおかげで、なんとか受験会場へ到着。

コンビニで、昼食のおにぎりを購入。まだまだ時間は早いので、会場の周りを少しブラブラと歩くと、ドカベン(大きなお弁当)を食べているおじさんを見かける。

どう見ても、真っ白いお弁当だ、おかずはないのか?と思ったけれど、人のお弁当を心配している暇はないぞ、と考え直し、試験までの間に勉強できる場所を探し、開場を待つことにした。

試験開始まで1時間半、そろそろお昼を食べておこう。周りも、何やらガサゴソと食べている様子。

気持ちも落ち着かないので、過去問を読みながら(でも、頭には入ってこない)おにぎりを出して・・・“パク”とひと口食べた・・・と、その時

「あんた、試験前に、よく飯なんて食ってられるな」と隣に座っていた、見ず知らずのおじさんに睨まれた。食欲低下、頭から血の気がサーサーッと引いて、心臓がバクバクする。早くこの場から立ち去ろう。

試験会場が開いた！受験票を机に置いて、携帯は紙袋に入れて封をする。開場には時計もないので、時計も置く。ビビりの私は、時計が止まった時を考えて、時計を2つ用意し、前日には時計の電池交換も済ませてあるので、大丈夫だろう。ひとつは鞆の中にあるのを確認。去年は、筆記用具を筆入れのまま出して叱られたので、今年は鉛筆と消しゴムだけを出しておく。

試験官が「今から時間を合わせます。私の時計は今〇〇時〇〇分〇〇秒です」さて、いよいよ始まる。

午後1時「はじめ」と試験官の声

行政書士の試験は点数が取れさえすれば、合格できる試験なので、誰かと競争する必要もないのは分かっているけれど、周りの人のページのめくる音が早く聞こえて仕方がない。のんびり解いている時間はない、記述式があるので、そこで時間が取られるし、多肢選択も時間がかかる・・・五肢択一は、悩んではいられない。む・難しいゾ？？こんな問題やっただけ？

時計を見ながら、ペース配分は大丈夫か確認する。

いつもより時間が掛っていると思っていたのに、時間はまだある！

試験終了30分前には、分からなかった問題を見直して、マークシートが合っているか確認して、間に合いそうだから・・・

と思っていた、その時

試験官が「終了10分前です」

・・・えっ？私の時計はまだ30分ある・・・時計が止まっている

手を挙げる

試験官が「どうしましたか？」と来てくれたので

「時計が止まりました、鞆に予備の時計があるので、出していただいても良いですか？」と鞆を出すと

「見ているので、ご自分で出して良いですよ」
慌てて鞆から時計を出して、後はもう頭真っ白

とにかく、マークシートに抜けはないか、名前が書いてあるかを確認して
むなしく「終了~~~~~」の声

あと10分なのに、わざわざ時計を出さなくても良かったかも、と頭の中はぐるぐる
終わってしまった……私の人生最後の試験が、時計が止まって終わってしまった
(いま考えると、おおげき)

試験会場を出たとたんに、涙があふれる。

前日に時計の電池まで取り換えたのに、なぜ？

仕方ない、仕方ない……

帰宅して、夜の解答速報が始まるけれど

見る気力が湧かない、どうせダメだ、でもそのまま気持ち悪い。

自分の解答に向き合って、終わらなくちゃ。

自己採点の結果は……やっぱりダメだ点数が足りない。あそこを、ああすれば、
あと少し時間があれば……何を考えても、後の祭り。

2014年は色々な出来事があった。

鳥たちを20羽とウサギを8羽、保護して貰い手を探した、試験が終わってすぐに札幌への引越。

12月からは新しい職場へ就職。

2014年12月、札幌は大雪だった。

岩見沢で慣れている私も、閉口するくらいの大雪。

年が明けて、合格発表は2015年1月26日

そのとき、私が居たのは、整形外科。

少し動いても胸の辺りが痛い。

連日、大雪の除雪、なんと……胸部骨折していたのだった。

不合格だと思っていたので、合格発表を見ることもない。

そこへ友人から電話が掛かってきた。

「おめでとう~~~~やったね！すごいよ」

「なに？なに？いま骨折して整形外科」

「え？合格発表見てないの？合格しているよ」

「ないないない、番号間違ってるんじゃない？」

「いや、ほんとにあったよ」

「え~~~~~ありがとう見てみる」

インターネットで調べてみると…あった！信じられない合格している。

奇跡~~~~半ベそ

胸の痛みも忘れるほど、嬉しくてうれしくて狂喜乱舞とはこのことか！

でも待てよ、まさかと言うこともある。合格通知が届くまで、信用できないかも。待ちに待った合格通知が届き、本当に嬉しくて泣いた。

合格者への説明を聞きに行き、すぐに開業届を提出。

開業が認められて、2015年5月1日新入会員登録証の交付式に出席してついに行政書士になることが出来ました。

あれから10年…

いまとなつては、試験日当日のドタバタが笑い話として思い出されます。